

編集後記

時の流れ

今年の7月初旬に米国核医学会に出席するために、ロスアンゼルスに出張した。その時に、最近では海外旅行も国内旅行に限りなく近くなったけれど、きわめて印象的な出来事が二つほど有ったので、ご紹介したい。

その一つは、ロス空港で、飛行機からおりてて入国手続きで、並んでいた時のことである。その列は日本航空が着いた直後であったので、殆どが日本人であったけれど、係員が書類が揃っているか、列の人たちに声を掛けてチェックしていた。すると突然背後で、若い女性の2人組が例の調子で「わかんない」と声を上げた。一瞬ぎょっとしたが、係り員は英語で何やら云っていた。その内に別の係り員もやって来たが、2人組は「わかんない」を連発。その内に係り員2人はどっかへ諦めて? 行ってしまった。2人組が無事入国したかどうかは確認しなかったが、多分入国したのではないではなからうか。

小生が30年前に、サンフランシスコのカリフォルニア大学へ留学のために、若干の悲壮感? を持って入国した時の事を思うと、隔世の感がある。

もう一つ驚いたのは、たまたまロデオ・ドライブと云う、女性なら皆が知っているブランドの店が並ぶ高級商店街を通った時、やはり日本人の若い女性グループが歩いていただけけれど、全員、昨今流行のポックリ靴を履いているのを見た時である。まるで新宿の繁華街を散歩している雰囲気であった。

かくも、海外旅行が普遍化したことに驚く自分が、少し時代遅れになっているのかもしれないと思ったりもしたが、しかしある意味では、日本が経済大国になった一つの証でもあろう。

只ただ、30年前の時の流れの恐ろしさに驚くばかりである。

そぞろなる サンタモニカや 風の音 (雪月花)

編集委員長 町田喜久雄

断層映像研究会雑誌

第27巻第1号 (断層撮影法研究会雑誌より通巻)

2000年3月1日 印刷

2000年3月31日 発行

発行人 田中良明

編集委員長 町田喜久雄

発行所 断層映像研究会

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

日本大学医学部放射線医学教室内

定 価 2,000円